

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

<b>中学校 第3学年 「音楽（教育芸術社）」</b>	<small>(歌)…歌唱教材 (器)…器楽教材 (鑑)…鑑賞教材 (創)…創作 (共通)…共通教材</small>
新型コロナウイルス感染防止のための配慮として、学校再開当初は、歌唱や器楽の指導を避け、鑑賞や音楽づくりの学習から開始できるよう、題材の順番を入れ替えてあります。学校の実情に応じて、ここに示された方法以外にも、柔軟な入れ替えができます。(週数は目安です。歌唱や器楽の実施については注意事項を参照してください。)	「鑑賞」や「創作」の題材を示しています 本学年で扱う「共通教材」を示しています

**25時間（70%）**

週	指導事項	題材名	教材名等	時間数 (減数)	留意点
1	鑑賞—アイ  (器楽—アイ、ウ)	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	(鑑) ポピュラー音楽 (器) テキーラ(p.54)→後半へ (器) Yesterday(p.74)→後半へ	3	○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを明確にして指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。 ○器楽指導は後半の題材と合わせて行う。
3	創作—アイ、ウ	言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう	(創) My Melody	2	○変更なし ○必要に応じてワークシート等を工夫することで、創作活動をしやすいようにする。
6	鑑賞—アイ	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	(鑑)組曲「展覧会の絵」から	2	○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを明確にして指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。
7	鑑賞—アイ		(鑑)ブルタバ(モルダウ)		
8	創作—アイ、ウ  (器楽—アイ、ウ)	曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう	Let's Create! (器)打楽器のための小品(p.78)→後半へ	3	○創作では、必要に応じてワークシート等を工夫することで、創作活動をしやすいようにする。 ○器楽指導は後半の題材と合わせて行う。
10	鑑賞—アイ	雅楽や能の特徴を理解して、その魅力を味わおう	(鑑) 平調「越天楽」—管絃—	3	○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを明確にして指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。 ○歌唱は後半の題材と合わせて指導する。
11	(歌唱—アイ、ウ)		(鑑)「羽衣」から		
12			(歌) 能「羽衣」から→後半へ		
13	鑑賞—アイ	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	(鑑) 世界の諸民族の音楽	2	○「世界の諸民族の音楽」については変更なし
14	歌唱—アイ、ウ	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	(共通) 花	2	○範唱CD等を活用し、活動を精選して取り組む。 ○「BINGO GAME」や「RHYTHM GAME」については、常時活動に取り入れ、継続して指導する。
15			My Voice!		
16			(共通) 早春賦		
17			BINGO GAME		
18	歌唱—アイ、ウ	曲想や語感を生かして、表現を工夫しよう	(歌) 帰れソレントへ	2	○範唱や範奏CD等を活用し、活動を精選して取り組む。
19			(歌) Yesterday		
20	歌唱—アイ、ウ	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう	(歌) 風の中の青春	2	○CDの範唱に合わせて歌ったり、ポイントを絞った指導を行ったりする。
21			(歌) フィンランディア		
21	歌唱—アイ、ウ	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	きみとともに 歌い継ごう 日本の歌 心通う合唱 指揮をしてみよう!	4	○合唱曲等を学校の実態に応じて選択していく。

\* 国歌「君が代」の指導については、儀式や行事等の指導の中で、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数を設定します。  
\* 留意点の欄にある「変更なし」については、年間指導計画作成例に示されている時数と変更がないため、指導計画と同様の指導ができるものとします。

#### ※注意事項※

通常の歌唱指導については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況をみながら、教室でマスクを外せる状況になった段階で実施を考えます。器楽指導（リコーダー等を使用する場合）も同様とします。

歌唱指導を行える状況になった際は、教室を十分に換気をした上で、CD等の範唱を聴きながら心の中で歌うことや口ずさむことを取り入れたり、範唱を聴いて曲の雰囲気や旋律等を味わったり、声の大きさや出し方に注意しながら体の向きを変えて歌ったりするなどの活動を取り入れることも考えます。

また、器楽指導では、衛生管理に注意するとともに、おもに打楽器や鍵盤楽器、ギターや箏などの弦楽器や和楽器等を扱いません。共用の楽器を扱う際は、楽器に番号をつけて使用した生徒が限定できるようにするなどの配慮を行います。リコーダー等を扱える状況になった際は、教室の座席配置を工夫したり、体の向きを変えたり、音を出さずに運指を確認する活動を取り入れたりするなど、学習を工夫することも考えます。

#### ※時間数の精選方法（例）

○題材の目標を明確にし、達成に向けて活動を工夫する。

新型コロナウイルス感染症対策にともなう休校措置を受け、各題材に割り振られる時数がおおむね1～2時間程度削減されています。そのため、各題材で設定する目標を明確にし、その目標を達成するための活動を精選することで対応します。（3時間以上の削減がある場合は、題材の中の曲を選択して扱うことも考えられます。）

##### ・歌唱及び器楽について

CDやDVD等の視聴覚教材を活用し、範唱や範奏に合わせて歌ったり演奏したりすることで、歌唱や器楽指導の簡略化を図ったり、譜読みの時間削減をしたりするなど、歌唱や器楽にあてる指導時間を軽減することができます。場合によっては、歌唱や器楽の演奏について、家庭学習で対応することも考えられます。

##### ・鑑賞について

CDやDVD等の動画や視聴覚教材を活用する際は、視聴させたい部分を取り出して鑑賞できるように工夫したり鑑賞する視点を焦点化したりすることで、鑑賞の指導時間を軽減することができます。なお、曲の全体を通して鑑賞する機会を確保できるよう、時間の配分に配慮することも考えられます。

##### ・創作について

創作では、教科書の図やワークシートを活用し、短時間で創作の活動が行えるようにしたり、一部の活動を家庭学習で取り組めるようにしたりすることもできます。なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、音に出して確かめたり表したいイメージと音を関わらせたりする活動を、状況に応じて取り入れていくことも考えられます。

なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、協働的な活動を取り入れることも考えられます。

(参考：令和2年5月1日付文部科学省通知)

新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校運営上の工夫について感染のリスクが高いと考えられる活動の取り扱いについて、「感染拡大防止の観点からリスクの高い学習活動を行わないこと」に、音楽科の学習活動として「音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動」が取り上げられました。